

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社イマジカ・ロボット ホールディングス

コード番号 6879 URL <http://www.imagicarobot.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 長瀬 朋彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 経営管理管掌 (氏名) 角田 光敏

TEL 03-6741-5742

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	23,389	692.1	1,407	859.8	1,401	1,011.4	980	3,507.3
23年3月期第2四半期	2,952	1.5	146	21.5	126	23.6	27	66.7

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 1,038百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	24.90	—
23年3月期第2四半期	3.72	—

当社は、平成23年4月1日付で、事業のすべてを子会社である旧株式会社フォトロン企画(現株式会社フォトロン)に移管する吸収分割、及び当社を存続会社として、親会社である旧株式会社イマジカ・ロボット ホールディングスとの吸収合併を行いました。なお、同日付で当社の商号を株式会社フォトロンから株式会社イマジカ・ロボット ホールディングスに変更しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
24年3月期第2四半期	39,626		22,220		55.7
23年3月期	4,989		3,784		73.2

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 22,079百万円 23年3月期 3,651百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,800	731.0	3,000	913.1	3,000	961.8	1,850	1,428.2	46.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成23年4月1日付で、事業のすべてを子会社である旧株式会社フォトロン企画(現株式会社フォトロン)に移管する吸収分割、及び当社を存続会社として、親会社である旧株式会社イマジカ・ロボット ホールディングスとの吸収合併を行っております。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

株式会社IMAGICA
新規 3社 (社名) 株式会社IMAGICAティーヴィー、除外 1社 (社名)
株式会社イマジカデジタルスケープ

詳細は、添付資料5ページ【2. サマリー情報(その他)に関する情報(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動】をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料6ページ【2. サマリー情報(その他)に関する情報(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用】をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	44,531,567 株	23年3月期	7,547,550 株
24年3月期2Q	5,158,000 株	23年3月期	250,111 株
24年3月期2Q	39,373,567 株	23年3月期2Q	7,297,465 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項等につきましては、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

2. 当社は、以下の投資家向け決算説明会を開催する予定です。当説明会で配布した資料については、開催後、速やかにTDnetで開示するとともに、当社ホームページに掲載する予定です。

平成23年11月15日(火) 機関投資家・アナリスト向け決算説明会

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	9
四半期連結包括利益計算書	10
(3) 継続企業の前提に関する注記	11
(4) セグメント情報等	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13
(6) 重要な後発事象	13
4. 補足情報	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、平成23年4月1日付で、事業のすべてを子会社である旧株式会社フォトロン企画（現株式会社フォトロン）に移管する吸収分割、及び当社を存続会社として、親会社である旧株式会社イマジカ・ロボット ホールディングスとの吸収合併を行いました。

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響を受けて急速に落ち込んだものの、サプライチェーンの復旧に伴い持ち直しの動きを続けております。個人消費は、震災直後には急速に落ち込んだものの、自粛ムードの緩和や地上デジタル放送への移行を控えたテレビの駆け込み需要などから夏場にかけて回復しております。一方企業収益は、震災による売上の落ち込みを主因として急速に悪化いたしました。

このような環境の下で、当社グループは、映像ビジネスにおいて幅広い事業展開を行っており、グループ丸となって、経営ビジョンに掲げております「映像コミュニケーションにおける新たな価値創造」に向けて、グループの総合力を発揮し、収益力及び財務体質を強化することに取り組んでまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、売上高は233億89百万円（前年同期比692.1%増）、営業利益は14億7百万円（前年同期比859.8%増）、経常利益は14億1百万円（前年同期比1,011.4%増）、四半期純利益は9億80百万円（前年同期比3,507.3%増）を計上いたしました。

セグメント別の業績

1) 映像技術サービス事業

映画分野におきましては、フィルムプリントからDCP（デジタルシネマパッケージ）化への移行が加速度的に進んでいることに伴い、デジタルシネマの受注案件が大幅に増加しております。テレビ番組、CM制作分野におけるポストプロダクション作業は、大型特番作業の受注に加え、編集室の稼働率が向上いたしました。また、高付加価値サービスを実現したことや、業務の効率化を図ったこと等により、売上高及び営業利益は堅調に推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当該事業分野の業績は、売上高は97億65百万円、営業利益は16億11百万円となりました。

2) 映像ソフト事業

広告制作におきましては、震災の影響によりCM案件が減少し予算の縮小化がある中で、積極的な営業活動により大型案件の受注を確保しました。映画分野におきましては、下期に公開を予定している「RAILWAYS 愛を伝えられない大人たちへ」「friends ものけ島のナキ」「ワイルド7」「ALWAYS 三丁目の夕日'64」の制作活動を行いました。またテレビドラマの番組制作も積極的に行い、その他に携帯電話向けコンテンツ制作、Webサイト制作などコンテンツに関連する分野において事業を展開してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当該事業分野の業績は、売上高は49億79百万円、営業利益は30百万円となりました。

3)放送事業

放送分野におきましては、「洋画 シネフィル・イマジカ」「食と旅のフーディーズTV」「歌謡ポップスチャンネル」の3チャンネルを運営しております。スカパー！e2、スカパー！HD、CATV、IP放送における加入者数及び単価が向上したことにより視聴料収入が増加し、売上高及び営業利益は堅調に推移しました。ホテル分野におきましては、震災の影響による宿泊客の減少に伴い、payテレビが売上減となりました。また、スポーツやエンターテインメントのタブレット型端末向け情報サイト「DAFLUID」のサービスを開始しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当該事業分野の業績は、売上高は22億53百万円、営業利益は84百万円となりました。

4)映像システム事業

イメージング分野におきましては、国内での高速度デジタルビデオカメラが震災の影響等により発売が下期へ順延となりましたが、海外市場での高速度デジタルビデオカメラの売上高及び営業利益は堅調に推移しました。一方、プロフェッショナル用映像機器や教育関連製品、CAD関連製品においては、受注競争が熾烈化している中、大手放送局への大型映像システムを受注したことにより、利益に貢献いたしました。また、画像処理用LSI関連につきましては、大手メーカーを中心に国内の出荷が低調となっております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当該事業分野の業績は、売上高は39億31百万円、営業利益は2億11百万円となりました。

5)人材コンサルティング事業

人材派遣・請負サービス分野におきましては、従来のWeb分野やゲームエンタテインメント分野におけるクリエイターの人材派遣・請負に加え、期初に株式会社IMAGICA PDを吸収合併したことにより、新たに「ポストプロダクション領域」での映像の編集や加工・録音といった映像技術者の人材派遣を展開しております。また、コンテンツ制作受託の分野におきましては、ゲーム制作を中心に受注を着実に獲得いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当該事業分野の業績は、売上高は41億39百万円、営業利益は78百万円となりました。

(2)連結財政状態に関する定性的情報

1)資産

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は396億26百万円(前期末比346億37百万円増)となりました。うち流動資産は252億41百万円、固定資産は143億85百万円であります。

流動資産の主な内容といたしましては、現金及び預金103億35百万円、受取手形及び売掛金69億9百万円、たな卸資産61億13百万円であります。

固定資産の主な内容といたしましては、有形固定資産92億3百万円、無形固定資産9億5百万円、投資その他の資産42億76百万円であります。

2)負債

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は174億5百万円(前期末比162億円増)となりました。うち流動負債は144億9百万円、固定負債は29億96百万円であります。

流動負債の主な内容としたしましては、支払手形及び買掛金33億99百万円、短期借入金44億50百万円であります。

固定負債の主な内容としたしましては、長期未払金6億21百万円、退職給付引当金14億17百万円であります。

3)純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は222億20百万円(前期末比184億36百万円増)となりました。なお、自己資本比率は55.7%となりました。

(3)連結業績予想に関する定性的情報

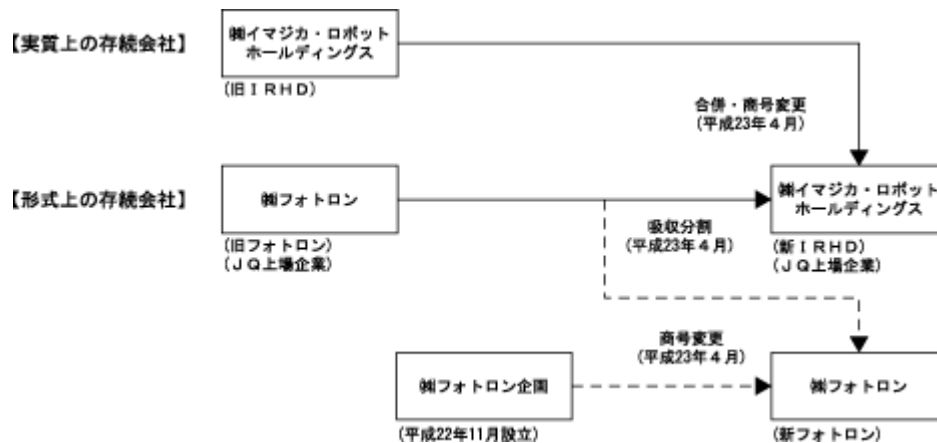
平成24年3月期第2四半期累計期間の業績予想につきましては、平成23年11月8日に発表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」にて修正を行っております。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社は、イメージングシステム事業、ソリューション事業、及びL S I開発事業について、平成23年4月1日を効力発生日として吸収分割（以下、「本会社分割」といいます。）により当社の完全子会社である株式会社フォトロン企画（以下、「フォトロン企画」といいます。）に承継し、当社は持株会社へ移行すること、及び、同時に同日付で当社を存続会社、当社の親会社である株式会社イマジカ・ロボット ホールディングス（以下、「旧I R H D」といいます。）を消滅会社とする吸収合併（以下、「本合併」といい、「本会社分割」と総称して「本組織再編」といいます。）を完了いたしました。

また、本組織再編に伴い、当社の社名を「株式会社フォトロン」（以下、「旧フォトロン」といいます。）から「株式会社イマジカ・ロボット ホールディングス」（以下、「新I R H D」といいます。）に、フォトロン企画の社名を「株式会社フォトロン」（以下、「新フォトロン」といいます。）にそれぞれ変更し、当社の定款につきましても商号・目的（事業）・体制に合わせて変更いたしました。



本組織再編の結果、当社の事業体制の変更及び子会社の異動が生じております。

組織再編後の事業体制及び子会社の状況につきましては下表のとりの構成となっております。

セグメントの名称	事業の内容	会社名
映像技術サービス事業	映画用フィルムの現像・焼付・合成加工 テレビ用・産業用ビデオ映像の編集・録音加工 各種メディア向け技術サービス DVD用パッケージサービス ビデオ撮影サービス	(株)IMAGICA(注3) (株)IMAGICAウェスト (株)IMAGICAイメージワークス (株)IMAGICAトータルサービス
映像ソフト事業	劇場映画の企画・製作 テレビコマーシャルの企画・制作 映像コンテンツの企画・制作・販売・サポート 映像コンテンツの権利の取得・利用	(株)ロボット (株)ピクス (株)ジェンコ
放送事業	CSデジタル放送の運営、番組制作・調達 各種メディア向けコンテンツの提供・配給 ホテル内ペイテレビシステムの運営・販売	(株)IMAGICAティーヴィ(注3)
映像システム事業	映像システムの開発・販売 LSIの開発・販売	(株)フォトロン(旧(株)フォトロン企画) フォトロン メディカル イメージング(株) アイチップス・テクノロジー(株) PHOTRON USA, Inc. PHOTRON EUROPE Ltd. (株)IMAGICAデジックス
人材コンサルティング事業	人材コンサルティング コンテンツの制作受託 画像・映像の撮影、加工、配信および関連サービスの企画・受託・販売	(株)イマジカデジタルスケープ(注3) (株)マルチビッツ

(注) 1. 上記の会社名表記会社はいずれも連結子会社であります。

2. 上記の他に連結子会社1社(株)マッシュヴメディアネットワーク)、非連結子会社2社(株)シネフィル、PHOTRON VIETNAM TECHNICAL CENTER Ltd.)があります。

3. 特定子会社に該当いたします。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,837,536	10,335,106
受取手形及び売掛金	1,195,650	6,909,940
たな卸資産	832,698	6,113,074
繰延税金資産	80,672	598,705
その他	169,339	1,338,788
貸倒引当金	-	54,240
流動資産合計	4,115,897	25,241,374
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	499,851	11,443,712
減価償却累計額	403,963	7,924,890
減損損失累計額	-	15,866
建物及び構築物(純額)	95,888	3,502,955
機械装置及び運搬具	100,831	22,480,152
減価償却累計額	88,979	20,844,620
減損損失累計額	-	4,632
機械装置及び運搬具(純額)	11,852	1,630,899
土地	337,974	3,083,820
建設仮勘定	-	38,354
その他	487,276	2,862,570
減価償却累計額	390,832	1,892,128
減損損失累計額	2,076	23,369
その他(純額)	94,367	947,072
有形固定資産合計	540,082	9,203,102
無形固定資産		
ソフトウェア	53,625	531,060
のれん	-	207,513
その他	39,405	166,992
無形固定資産合計	93,031	905,566
投資その他の資産		
投資有価証券	24,161	2,333,738
関係会社株式	31,300	154,620
敷金及び保証金	110,948	638,716
繰延税金資産	38,934	571,395
その他	35,199	802,607
貸倒引当金	-	224,514
投資その他の資産合計	240,542	4,276,564
固定資産合計	873,655	14,385,233
資産合計	4,989,553	39,626,608

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	579,431	3,399,783
短期借入金	150,000	4,450,200
未払金	64,456	656,964
未払法人税等	36,635	557,396
繰延税金負債	4,226	3,781
賞与引当金	44,396	815,764
受注損失引当金	-	41,854
その他	184,331	4,483,941
流動負債合計	1,063,478	14,409,687
固定負債		
長期借入金	-	14,300
長期末払金	45,087	621,222
繰延税金負債	10,948	442,405
退職給付引当金	25,155	1,417,818
役員退職慰労引当金	54,877	-
その他	5,784	500,561
固定負債合計	141,853	2,996,308
負債合計	1,205,332	17,405,995
純資産の部		
株主資本		
資本金	504,600	3,244,915
資本剰余金	400,692	13,383,266
利益剰余金	3,078,361	5,690,850
自己株式	108,799	-
株主資本合計	3,874,855	22,319,032
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	248	54,591
繰延ヘッジ損益	2,624	769
土地再評価差額金	51,497	36,398
為替換算調整勘定	169,469	149,298
その他の包括利益累計額合計	223,343	239,519
少数株主持分	132,710	141,100
純資産合計	3,784,221	22,220,613
負債純資産合計	4,989,553	39,626,608

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	2,952,760	23,389,639
売上原価	1,254,241	16,446,743
売上総利益	1,698,519	6,942,896
販売費及び一般管理費	1,551,899	5,535,666
営業利益	146,619	1,407,229
営業外収益		
受取利息	8,670	1,941
受取配当金	198	25,167
受取賃貸料	11,510	11,358
その他	1,684	31,006
営業外収益合計	22,063	69,474
営業外費用		
支払利息	5,968	21,303
役員退職慰労引当金繰入額	-	21,427
その他	36,605	32,342
営業外費用合計	42,574	75,073
経常利益	126,109	1,401,630
特別利益		
固定資産売却益	560	7,512
負ののれん発生益	1,097	169,366
その他	-	32,857
特別利益合計	1,658	209,736
特別損失		
固定資産売却損	-	4,882
固定資産除却損	158	11,271
移転費用	-	35,450
損害賠償金	-	24,724
その他	14,541	28,257
特別損失合計	14,700	104,587
税金等調整前四半期純利益	113,067	1,506,779
法人税等	72,870	541,951
少数株主損益調整前四半期純利益	40,197	964,827
少数株主利益又は少数株主損失()	13,023	15,389
四半期純利益	27,173	980,217

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	40,197	964,827
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,026	100,109
繰延ヘッジ損益	599	2,624
為替換算調整勘定	39,853	29,517
その他の包括利益合計	41,479	73,215
四半期包括利益	1,282	1,038,043
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,306	1,053,433
少数株主に係る四半期包括利益	13,023	15,389

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額	四半期連結損益計算書計上額
	映像技術サービス	映像ソフト	放送	映像システム	人材コンサルティング	計		
売上高								
外部顧客への売上高				2,952,760		2,952,760		2,952,760
セグメント間の内部売上高又は振替高								
計				2,952,760		2,952,760		2,952,760
セグメント利益				146,619		146,619		146,619

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額	四半期連結損益計算書計上額
	映像技術サービス	映像ソフト	放送	映像システム	人材コンサルティング	計		
売上高								
外部顧客への売上高	9,479,064	4,966,744	2,249,421	3,789,474	2,888,950	23,373,654	15,985	23,389,639
セグメント間の内部売上高又は振替高	286,808	12,855	4,270	141,846	1,250,642	1,696,422	1,696,422	
計	9,765,872	4,979,599	2,253,691	3,931,321	4,139,592	25,070,077	1,680,437	23,389,639
セグメント利益又は損失()	1,611,579	30,588	84,295	211,181	78,824	2,016,470	609,241	1,407,229

(注) 1.セグメント利益又は損失()の調整額 609,241千円は、持株会社(連結財務諸表提出会社)等に係る損益1,203,967千円及びセグメント間取引消去 1,813,208千円であります。

2.セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

当社及び当社の親会社であった、旧株式会社イマジカ・ロボット ホールディングス（以下「旧IRHD」といいます。）は、平成23年4月1日付にて、当社を存続会社、旧IRHDを消滅会社とする吸収合併を行い、旧IRHDの事業の全部を承継すると共に、商号を株式会社イマジカ・ロボットホールディングスに変更いたしました。

これに伴い、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの事業区分の変更を行っております。従来、「イメージングシステム」「ソリューション」「LSI開発」の3事業区分にて記載しておりましたが、変更後の事業区分は「映像システム」の1事業区分で記載しております。

旧IRHDより承継した事業、及び従来からの報告セグメントを変更した「映像システム」セグメントについての内容は以下の通りです。

「映像技術サービス事業」は、映画用フィルムの現像・プリント、TV番組・CM・PR等のビデオ映像・音声編集、デジタル合成、DVDパッケージ化など、撮影から完成までのプロセス全般を展開しております。

「映像ソフト事業」は、劇場映画やアニメ作品の企画制作、TVCMを中心とした広告制作、Web映像の企画制作のほか、各種映像コンテンツのライセンスビジネスを行っております。

「放送事業」は、CSデジタル放送、放送番組の企画制作・編成、DVDの企画・制作・発売、ホテルペイテレビ向けの番組配給事業等を行っております。

「映像システム事業」は、映像・画像に関わる最先端の映像情報機器やソフトウェアの開発・製造・販売事業、画像関連LSIの開発・販売、ハイエンド映像関連機器の輸入販売、保守サービス等の事業を展開しております。

「人材コンサルティング事業」は、デジタルクリエイターとITエンジニアに特化した人材派遣・請負サービスやコンテンツ制作受託等の事業を展開しております。

3 報告セグメントごとの資産の著しい金額の変動

平成23年4月1日付にて、当社を存続会社、親会社であった旧IRHDを消滅会社とする吸収合併を行ったことにより、前連結会計年度末に比べて、資産が著しく増加しております。なお、当第2四半期連結累計期間における各セグメントの資産は以下の通りです。

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額	四半期連結貸借対照表計上額
	映像技術サービス	映像ソフト	放送	映像システム	人材コンサルティング	計		
セグメント資産	22,473,763	4,910,804	2,600,457	6,002,111	3,007,950	38,995,087	631,520	39,626,608

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

平成23年4月1日付にて、当社を存続会社、親会社であった旧I R H Dを消滅会社とする吸収合併を行ったことにより、負ののれんが発生しております。当該事象による負ののれんを一括償却したことにより、当第2四半期連結累計期間において負ののれん発生益169,366千円を計上しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

当社は、平成23年4月1日付で親会社である旧株式会社イマジカ・ロボットホールディングス(以下、「旧I R H D」といいます。)を消滅会社、当社を存続会社として合併しております。

当該合併は、「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号平成20年12月26日)第212項に基づき、会計処理を行っております。

このため、前連結会計年度まで当社を企業集団の頂点とした連結財務諸表を作成しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、旧I R H Dを企業集団の頂点とみなして連結財務諸表を作成しており、当第2四半期連結累計期間の株主資本の期首残高は旧I R H Dの連結期首残高となっております。この結果、前連結会計年度の株主資本の連結会計年度末残高と当第2四半期連結累計期間の株主資本の期首残高との間には連続性がなくなっております。

	株主資本(千円)			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
平成23年3月31日残高(注)	2,740,315	12,978,605	4,903,415	20,622,336
当第2四半期連結累計期間中の 変動額				
剰余金の配当			161,022	161,022
四半期純利益			980,217	980,217
合併による増加	504,600	404,661		909,261
連結範囲の変動			31,760	31,760
当第2四半期連結累計期間中の 変動額合計	504,600	404,661	787,434	1,696,696
平成23年9月30日残高	3,244,915	13,383,266	5,690,850	22,319,032

(注)「平成23年3月31日残高」は、旧I R H Dの連結期末残高を記載しております。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

【参考情報】

当社（旧株式会社フォトロン）は、平成23年4月1日を効力発生日として、事業のすべてを完全子会社である株式会社フォトロン企画（同日付で株式会社フォトロンに商号を変更しております。）に承継し、当社は持株会社へ移行する吸収分割、及び当社を存続会社、当社の親会社である旧株式会社イマジカ・ロボットホールディングス（以下、「旧IRHD」といいます。）を消滅会社とする吸収合併を完了し、同日付で商号を株式会社イマジカ・ロボットホールディングスに変更いたしました。実質的存続会社となる旧IRHDの前連結会計年度末（平成23年3月期末）に係る連結貸借対照表及び前四半期連結累計期間（平成23年3月期第2四半期）に係る連結損益計算書につきまして、参考情報としてお知らせいたします。

(1) 前連結会計年度末に係る連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	10,329,933
受取手形及び売掛金	8,532,888
商品及び製品	756,064
仕掛品	3,851,219
原材料及び貯蔵品	474,000
繰延税金資産	625,510
その他	724,445
貸倒引当金	54,777
流動資産合計	25,239,286
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物	11,378,043
減価償却累計額	7,725,992
建物及び構築物(純額)	3,652,050
機械装置及び運搬具	22,930,522
減価償却累計額	21,042,455
機械装置及び運搬具(純額)	1,888,067
土地	3,083,820
建設仮勘定	50,729
その他	2,565,329
減価償却累計額	1,797,381
その他(純額)	767,948
有形固定資産合計	9,442,615
無形固定資産	
ソフトウエア	567,215
のれん	248,296
その他	138,656
無形固定資産合計	954,168
投資その他の資産	
投資有価証券	2,286,795
長期貸付金	91,756
繰延税金資産	554,770
その他	1,175,371
貸倒引当金	181,573
投資その他の資産合計	3,927,120
固定資産合計	14,323,904
資産合計	39,563,190

(単位：千円)

前連結会計年度
(平成23年3月31日)

負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	4,575,077
短期借入金	4,666,592
未払法人税等	410,743
賞与引当金	840,150
未払金	1,026,465
前受金	2,472,254
受注損失引当金	58,303
その他	1,320,559
流動負債合計	15,370,147
固定負債	
長期借入金	19,400
退職給付引当金	1,393,692
役員退職慰労引当金	310,878
繰延税金負債	397,738
その他	525,708
固定負債合計	2,647,417
負債合計	18,017,565
純資産の部	
株主資本	
資本金	2,740,315
資本剰余金	12,978,605
利益剰余金	4,903,415
株主資本合計	20,622,336
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	154,701
繰延ヘッジ損益	1,854
土地再評価差額金	36,398
為替換算調整勘定	119,780
その他の包括利益累計額合計	312,735
少数株主持分	1,236,024
純資産合計	21,545,625
負債純資産合計	39,563,190

(2) 前第 2 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書

	(単位：千円)
	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)
売上高	25,415,441
売上原価	18,654,388
売上総利益	6,761,053
販売費及び一般管理費	5,193,125
営業利益	1,567,927
営業外収益	
受取利息	1,577
受取配当金	23,528
持分法による投資利益	3,774
その他	37,913
営業外収益合計	66,794
営業外費用	
支払利息	37,448
為替差損	36,161
その他	32,354
営業外費用合計	105,964
経常利益	1,528,757
特別利益	
固定資産売却益	1,457
貸倒引当金戻入額	15,999
役員退職慰労引当金戻入額	17,077
退職給付制度改定益	17,482
その他	8,446
特別利益合計	60,463
特別損失	
固定資産処分損	58,052
事業再構築費用	43,838
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	98,407
リース解約損	64,924
その他	10,179
特別損失合計	275,401
税金等調整前四半期純利益	1,313,819
法人税等	636,474
少数株主損益調整前四半期純利益	677,344
少数株主利益	32,640
四半期純利益	644,704